

|                    |  |
|--------------------|--|
| 科目名称               | 子どもの保健   |
| 授業コード              | AI324  |
| 英語名称               | Studies of Child Health  |
| 学期                 | 2024年度前期   |
| 単位                 | 2.0  |
| 担当教員               | 三宅 美千代   |
| 記入不要<br>ナンバリングコード  |  |
| 授業の概要              | 子どもの保健は、子どもの日常生活を実践の場とし、子どもの健康の維持・増進を目的としています。常に成長・発達する子どもの健康の維持・増進につとめられるよう、身体的・社会的・精神的側面から子どもの特徴や発育の過程、健康状態の把握の方法を理解するとともに、子どもに特有な症状や疾病とその予防法や対応の仕方について理解していきます。また、現代の複雑多様な社会背景や環境の中で、子どもを守る保育者の在り方を考え、健やかな子どもの育ちを支え、保育施設の子どものみならず、地域の子どもの保育支援アドバイザーとしての自覚を持ち、多職種間の連携・協働のもとで適切なコミュニケーションを取りながら、より良い社会に貢献できる保育者となることを目指します。   |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | 看護師・保育士の資格を持つ教員が、小児病棟等における看護師としての実務経験と知識・技術を生かして指導する。  |
| 到達目標               | <p>本科目は、こども学科が定めるディプロマ・ポリシー「2. 教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。【知識・技能】」及び「4. 生命への思いやりをもって子どもと接し、子どもに対する観察・理解力を身に付けるとともに、発達や育ちを基に指導計画を作成し、省察・改善することができる。【人間力・指導力】」の習得のため、以下について系統立てて理解し、保育の対象である子どもの理解を深め、自らの保育として実践する力を養う。</p> <p>子どもの身体的・社会的・精神的特徴や成長発達の過程を説明できる。<br/> 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。<br/> 子どもに特有な症状や疾病と、その予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。<br/> ・子どもを取り巻く社会的問題に関心を持ち、地域における子育て支援に寄与できる。</p> |
| 計画・内容              | <p>第1回 ・保育における保健活動の意義と目的<br/> ・子どもの定義と子どもの権利<br/> ・現代社会における子どもの健康に関する現状と課題</p> <p>第2回 ・母子保健と母子健康手帳の意義<br/> ・妊娠期における胎児の発育と出生の過程</p> <p>第3回 ・子どもの身体発育と評価<br/> ・乳幼児の身体測定の方法：身長・体重・頭囲・胸囲</p> <p>第4回 ・子どもの運動機能の発達と評価<br/> ・原始反射と自動運動<br/> ・粗大運動と微細運動の発達過程</p> <p>第5回 ・子どもの生理機能の発達<br/> ・子どもの感覚器官の発達</p>   |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 計画・内容              | <p>第6回 ・子どもの基本的な生活習慣の獲得過程<br/>・子どもの発達に伴う生活の変化</p> <p>第7回 ・子どもの健康状態の観察ポイントと日常における観察方法<br/>・子どもの虐待の現状と虐待防止の取り組み</p> <p>第8回 ・子どもに特有な症状と対応</p> <p>第9回 ・感染症の発生原因と保育現場における感染症対策<br/>・子どもの予防接種</p> <p>第10回 ・子どもの主な病気と対応：感染症</p> <p>第11回 ・子どもの主な病気と対応：急性疾患</p> <p>第12回 ・子どもの主な病気と対応：先天性疾患と慢性疾患</p> <p>第13回 ・子どもの主な病気と対応：アレルギー疾患</p> <p>第14回 ・子どもの健康診断と歯科検診<br/>・子どもの健康について保護者との情報共有の内容と方法<br/>・子どもの体調の変化について連絡帳への書き方</p> <p>第15回 ・保育における保健活動の総括<br/>・母子健康手帳の記録方法<br/>・母子健康手帳の保育現場での活用方法<br/>・保育現場と医療現場の連携、地域連携、保護者連携</p> |
| 授業の進め方             | <p>講義形式が中心となりますが、グループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れ、各自の考えを発言し、グループ内における意見を統合し発表を行い、みんなで共有する時間を設けます。また、パワーポイントや動画、画像等を用い、視覚的にも分かりやすく授業を充実させます。</p>   |
| 能動的な学びの実施          | <p>子どもを取り巻く環境や社会に常に目を向け、子どもが置かれている現状や問題点、健康や保健に関する情報を入手し、自分なりの意見をまとめ考察を行い、授業内で共有・意見交換を行うなどし、理解を深めていくことを希望します。</p>  |
| 授業時間外の学修           | <p>授業前に教科書の該当箇所を読み、専門的で分からない言葉等は事前に調べておいてください。また、関連するガイドラインや近年のデータを読み、学習内容の課題を明確にして望んでください。授業後には毎回授業の学び自分なりに整理し、知識を定着させてください。（合計60時間程度）</p>  |
| 教科書・参考書            | <p>【教科書】 山下雅佳実他、イラスト 子どもの保健・健康と安全、東京教学社、2023。<br/>【参考書】 適宜紹介します。</p>   |
| 成績評価方法と基準          | <p>定期試験(50%)<br/>授業内における小テスト(10%)<br/>毎授業のリフレクションペーパー(10%)<br/>課題レポート(20%)<br/>授業参加度(10%)により総合的に成績を評価します。</p>  |
| 課題等に対するフィードバック     | <p>毎授業におけるリフレクションペーパー内の質問に対し、次の授業で解説を行います。</p>   |
| オフィスアワー            | <p>CampusSquareを参照</p>   |
| 留意事項               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連科目である子どもの健康と安全は、本科目を履修を条件とし、その講義内容も含めて理解をしていることを前提としています。</li> <li>・配布資料が多いため、A4サイズのファイルを用意しファイリングをし、また専用のノートを作成するなど、自分なりに各回の授業内容を整理してください。</li> <li>・実技演習時、長い髪はまとめ、爪を切り、清潔で動きやすい服装等で臨んでください。</li> </ul>   |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め | <p>授業の進め方：Zoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し、議論します。授業内容の確認小テストを行い、Webフォームに直接入力し、その後解説</p>   |

|                  |  |
|------------------|--|
| 方」および「成績評価方法と基準」 | を行います。<br>zoom授業への参加度(10%)、確認小テスト(20%)、レポート提出(20%)、最終確認試験(50%)により総合的に成績を評価します。 |
|------------------|--|